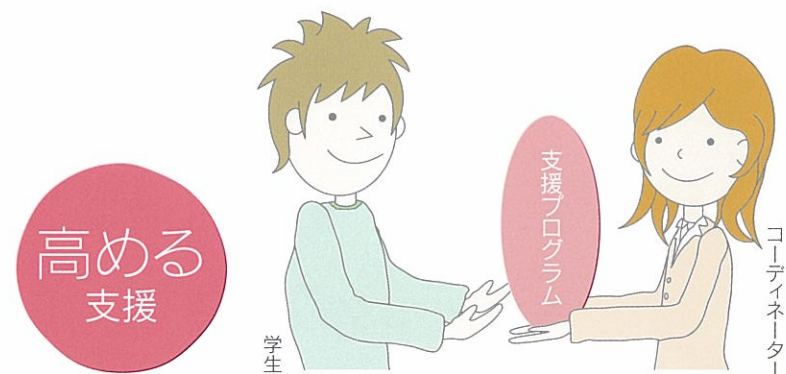


## 「学生支援の鍵をにぎる」

### 学生支援コーディネーターの役割

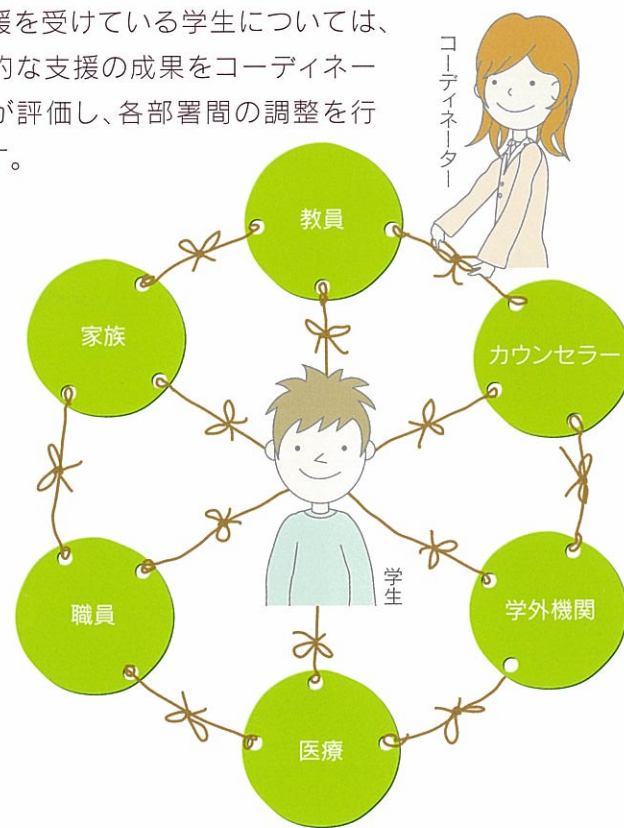


高める  
支援

「フィールド体験部門」や「ライフスキル支援部門」が中心となって運営される学生の人間力向上を目指した多様なプログラムを企画・展開し、学生に活動の場を提供します。

補う  
支援

「発達障害支援部門」「健康安全支援部門」における学生に対する個別支援では、まず学生のニーズを把握します。そしてその学生のニーズに即した適切な支援へと結びつけます。また、複数の部署から支援を受けている学生については、全体的な支援の成果をコーディネーターが評価し、各部署間の調整を行います。



#### ●アクセス



#### 松本キャンパス

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

JR 松本駅お城口(東口)を出て右前方「エスパ」地下1階、松本バスターミナルのりば1「信大横田循環線」、のりば3「浅間線」に乗車(15分)、バス停「信州大学前」下車。人文学部・経済学部・附属図書館へは、次のバス停「大学西門」下車。

#### ●連絡先

#### 信州大学 学生総合支援センター

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

TEL 0263-37-2281

E-mail: campus-sien@shinshu-u.ac.jp

担当者/金子

[http://www.shinshu-u.ac.jp/good\\_practice/s\\_support/](http://www.shinshu-u.ac.jp/good_practice/s_support/)



平成19年度 文部科学省

新たな社会的ニーズに対応した  
学生支援プログラム(学生支援GP)

国立大学法人

信州大学



個性の自立を《補い》《高める》学生支援  
— 発達障害にも対応できる人間力向上支援プログラム —



## 本プログラムの概要



本プログラムは、学生の支援ニーズの多様化を背景に、発達障害等これまで支援対象にならなかった新しいニーズのある学生にも対応できるように、既存の学生支援の取り組みを再編し全学的組織の下で体系的な支援を実現することを目指しています。基本的な考え方として、学生がより高いところで自立した個性を発揮するのを手助けする《高める支援》と、発達障害等の専門的支援ニーズの高い学生の高等教育へのアクセスを保証する《補う支援》の2つを掲げ、それらを提供することで学生の人間力を向上させることを目的としています。

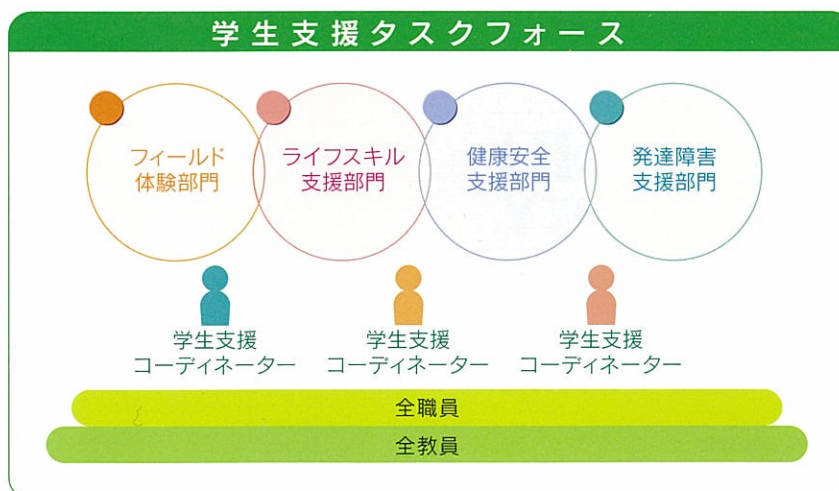
これら《補い》《高める》支援は、「フィールド体験部門」「ライフスキル支援部門」「発達障害支援部門」「健康安全支援部門」の4部門が中心となり学生のニーズに応じた多様な支援プログラムを提供します。



## 組織的な学生支援



本プログラムでは、4部門を中心としながら全教職員が「学生支援タスクフォース」として組織的に学生支援に取り組むことで、教育のユニバーサルデザイン化を図ることを目指しています。また、本プログラムによって新たに配置された学生支援コーディネーターによって、多様なニーズをもった学生をその学生に合った適切な支援へと結びつけます。



## 各部門の取り組み



### ● フィールド体験部門

信州の豊かな自然(フィールド)を使った体験型実習

フィールド体験部門では、信州ならではの豊かな自然の中で同級生と宿泊しながら様々な体験を通して仲間づくりができるプログラムを提供しています。フィールドでの体験に含まれる様々な経験、「同じ釜の飯を食う」という連帯感を学生同士で共有することにより、親和性を高めピアサポートの基礎を作ることを目指しています。また、専門分野に拘らない数多くの経験を積むことで、未知のものに対する対応力、問題解決能力を高め、「トライ」の精神を身につけることができます。



### ● ライフスキル支援部門

ワークショップを使ったライフスキル向上プログラム

ライフスキル支援部門では、学生が日常生活で直面するさまざまな問題に、より効果的に対処するために必要なライフスキルを高める支援を行います。学生が身につけたいライフスキルは何かを把握したうえで、スキルアップを図るためのワークショップを定期的に開催します。これらの活動を通して、学生の問題対処能力や予防的な力を促進することを目指します。



高める支援

### ● 健康安全支援部門

学生の心身の悩みや困りごとに対する早期支援と専門的支援

健康安全支援部門では、新入生全員に対し「こころの健康診断」を行い、学生の支援ニーズの早期把握、早期介入をおこないます。また、修学上の問題、人間関係、自分の生き方、将来の進路等、学生のどんな悩みや困りごとでも相談を受け付けています。秘密厳守の原則の上で、専門的立場からみためを行い、悩みに応じてアドバイスをしたり、継続的なカウンセリングに導入したり、専門的治療をすすめていたりしています。



### ● 発達障害支援部門

偏りの大きい学生に対する個別的支援の提供

発達障害支援部門は、発達障害など、得意不得意の偏りが大きく大学生生活を送っていく上で困難を感じている学生が、本来の力を発揮して各自の目標を達成していけるようになるための支援方法について、情報収集、開発、実践します。また、教職員に対しFD(ファカルティディベロップメント)やSD(スタッフディベロップメント)を通して発達障害に対する理解の促進を図ります。



補う支援